

間伐材で「あいの沢」に遊歩道を整備

ー森林環境交付金事業ー



▲木材チップを敷いた歩道

村では、19年度に同交付金を活用し、広葉樹の間伐及びチップ歩道の整備、村内の子どもたちを対象にした木工クラフト教室や森林教室などを行う予定です。

村では、18年度に県の森林環境交付金を活用し、村民の森「あいの沢」内に間伐材を利用した木材チップの歩道とテーブル・ベンチを整備しました。

森林環境交付金とは、県が豊かな森林を保全し次世代へ引き継ぐことを目的に、18年度から導入した森林環境税を財源とし、水源地域の森林や里山の整備、ボランティア活動への支援など森林を守り育てる取り組みに対して交付しています。

今回整備した歩道は村産間伐材を利用したもので、延長は約150m。チップがクッションとなり、歩いていて足に負担が少ないのが特徴です。

また、テーブル・ベンチセットは県産間伐材を利用したもので、園内に10組設置しました。

総事業費は401万円（うち県交付金327万円）です。



▲間伐材を利用したテーブル・ベンチセット

震災対策一口標語

震災で
あわてるよりも
まず備え

火災・救急情報

3月の出動 火災 1件(1月からの累計 2件)
救急29件(1月からの累計 69件)

相馬市が昨年の県知事選挙で、早稲田大マニフェスト研究所が提唱している開票時間短縮運動を初めて導入し、開票作業を早く終えたことで話題になりました。▽村でも今回の参議院補欠選挙の開票で、作業の分担を見直したり、投票用紙を揃えやすいようにパックを使うなど工夫を重ねた結果、投票率は低かったものの、前回の県知事選挙に比べて15分以上の短縮となりました。▽正確性が重要される選挙事務において、スピードを加える取り組みに、広報作成と同じ思いがして、今まで以上に緊張した開票作業でした。

ご寄付ありがとう (4月25日現在)

○子どもの育成

▶ 故星義継子供一同(横山フクイさん・高橋トク子さん・半澤マツヨさん)から金500,000円

○社会福祉施設等整備基金

▶ 末永瑞夫さん(深谷)から金100,000円

○いいたて福祉会

▶ 星正彦さん(南相馬市)から金30,000円
▶ 佐藤勝範さん(上飯樋)から金50,000円

○飯館村社会福祉協議会

▶ 武石成美さん(宮内)から金50,000円
▶ 村山豊さん(宮内)から金100,000円

あとなぎ